

2026 年 4 月 1 日～2026 年 6 月 30 日の間に 当院において腹部 MRCP 検査を受けられた方及びご家族の方へ

—「AI 画像再構成パラメータの設定が膵管径計測に与える影響」 へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 診療放射線技師 河内 良太
研究分担者 川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 技師長 田淵 昭彦
川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 主任 水野 朱里
川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 診療放射線技師 大森 華
川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 診療放射線技師 青木 翔太郎

1. 研究の概要

当院では 2025 年 9 月、Canon 社製 MRI 装置を導入致しました。この装置には得られた画像を超解像処理する AI システム「PIQE (Precise IQ Engine)」が搭載されており、従来装置では得られなかった高分解能の画像を取得することが出来るようになりました。一方で過剰な画像処理は膵管径に変化をもたらす可能性があるとの報告も散見されますが、それらを体系的にまとめられたものは見受けられません。本研究では超解像処理に係わるパラメータが膵管径の評価に及ぼす影響を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2026 年 4 月 1 日～2026 年 6 月 30 日の間に川崎医科大学総合医療センター中央放射線部において腹部 MRCP 検査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

3) 研究方法

- 2026 年 4 月 1 日～2026 年 6 月 30 日に川崎医科大学総合医療センターにおいて、膵臓 MRI 検査を行った約 20 症例を対象にして撮影した画像の元データを持ち、PIQE を用いた後処理を施し画像を抽出します。
- 取得した画像から膵管径や膵臓と膵液のコントラストを定量的に評価し各パラメータにおける評価結果を検討します

4) 使用する情報の種類

情報：患者の画像の元データ、膵管径、膵実質と膵管の信号値 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター 画像診断センター管理室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたUSBに保存し、施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年7月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部

氏名：河内良太

電話：086-225-2111 内線82524（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343 E-mail：r.kawauchi040@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。